事務事業評価表(内部管理事務等)

平成 29 評価対象年度 年度 1次評価日(主幹等) 30 年 3 月 31 日 2次評価日 (課長等) 30 年 3 月 31 日

1 事業名	儀式・表彰事務					=	コード	165105		
2 担当部課	部等 企画區	 大策部	課等	秘書広報課	秘書担	当	f	作成者	金子	郷
	ny .	総合計画の推進に向けて 施 策 その他								
3 事業概要	术	儀式表彰事務費			業務		なし	<u>-</u> (直営)		
	実施義務	その他(内部事	務等)		国県	補助	なし			
	根拠法令	なし					•			

●事業の実施内容 (DO)

4	事業の概要等 *対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)						
	事業の概要		市制施行記念式典、新年祝賀式等の開催及び市長表彰、県知事表彰、国家表彰等の上申				
		対象者	市民及び職員				
	目的	意 図	①市制施行日、新年などの節目にあたり、市内各界各層の方々が会し、本市の一層の発展 を願い相互交流を図る。 ②公益の増進に寄与された方や、市民の模範となる優れた善行等のあった方々の功績を讃 え顕彰する。				

5 事業の実施内容

*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

- 〇市制施行81周年記念式典
 - 9 階大会議室 期日、場所 : 4月1日(土)
 - 内容 : 記念式典、市政功労者等表彰式、記念講演

記念講演:自転車冒険写真家 小口 良平 氏

「夢をあきらめないで ~世界をみて感じた故郷の美しさ」

- 〇年度始めの式 (職員対象)
 - ・期日、場所 : 4月3日(月) 市役所9階大会議室 内容 : 市長訓示
- 〇仕事納めの式(職員対象)
 - ·期日、場所 : 12月28日(木) 市役所9階大会議室 内容 : 市長訓示他
- 〇仕事始めの式(職員対象)
 - ·期日、場所 : 1月4日(木) 市役所9階大会議室 ·内容 : 市長訓示他
- 〇岡谷市新年祝賀式 (新年祝賀式実行委員会主催)
 - 期日、場所 : 1月4日(木) カノラホール 内容 : 式典、奉祝行事、祝宴
- 〇市長表彰
 - *一般(4月1日市制施行記念式典において表彰)
 - 功労表彰6名 ·褒章 27名·10団体 • 有功表彰 2 8 名
 - 国家表彰受章者賀状贈呈 9 名
 - *職員(4月1日職員表彰式において表彰)
 - 功労表彰5名有功表彰22名
- 〇国家表彰(叙勲・褒章・死亡叙勲・叙位)、県知事表彰等の上申

前年度の課題 への対応

・市政等功労者の把握については、情報収集を行いながら漏れのない事務処理に努めた。 ・新年祝賀式への参加者の確保を図るため、各種団体へ参加申込書を送付するとともに、

電話等により参加のお願いをした。

6 7	ア)コストの推移	*この事業にかかる費用	[単位:円]		
	区分	27年度	28年度	29年度	30年度 (予算)
(1	〕直接事業費	1, 348, 677	1, 837, 431	1, 489, 031	1, 800, 000
	経常経費	1, 348, 677	1, 837, 431	1, 489, 031	1, 800, 000
	臨時的経費	0	0	0	0
	* 臨時的経費の説明				
2	入件費	2, 400, 000	2, 400, 000	2, 400, 000	2, 400, 000
	正規職員の人数(人)	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
3) 合計コスト (1+2)	3, 748, 677	4, 237, 431	3, 889, 031	4, 200, 000
	前年度比		113. 0%	91. 8%	108. 0%
	財源 一般財源	3, 748, 677	4, 237, 431	3, 889, 031	4, 200, 000
	内訳 特定財源	0	0	0	0
	* 特定財源の説明				
4)コストに関する補足説明				

イ)負担金、補助金、交付金の状況

[単位:件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度 (予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	0	0	0	0
等合計金額及び割合	割合	0. 00%	0. 00%	0. 00%	0. 00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)

- ・市政等への功労者の把握
- ・市制施行記念式典の周知及び参加
- ・新年祝賀式への参加申込者が減少傾向にある。

題

課

(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)

- ・市政等への功労者選定に漏れがないよう各部署において情報管理を徹底する。
- ・市制施行日を広くPRしていく。

・新年祝賀式の参加者確保のため、引き続き各種団体への電話連絡や参加申込書を送付するなど 参加を促す。

方法

善

改善開始時期 平成30年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針 継続して実施

9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること